

## ISO/TC46/SC4/WG16 ( Dublin Core ) 報告

記録作成日：2019-05-06

奥田倫子

日時 2019-05-06 10:00-11:05

場所 カナダ オタワ カナダ国立図書館文書館 ( Library and Archives of Canada )

1. Opening of the meeting
2. Roll Call of the delegates

Convenor : Juha Hakala ( フィンランド、SFS )

事務局 : Kati Heiskanen, Sirpa Sipola ( フィンランド、SFS )

オーストラリア、オランダ、カナダ、中国、デンマーク、日本、フィンランド、米国などから 17 名参加。(米国から 2 名のオブザーバ参加含む。)

3. Adoption of the agenda (N12)

採択

4. Current status of the project

- ・ ISO 15836 改訂
- ・ ISO 15836-1:2017 発行済
- ・ ISO 15836-2 CD 投票の結果

The Dublin Core metadata element set - Part 2: DCMI Properties and classes の CD 投票は 2018 年 7 月に開始され、9 月に終了した。結果は、承認 20、棄権 7、否認 0 で、有用なコメントを得ることができた。フィードバックは DIS 草案に反映され、再び DCMI Usage Board との協力で作業が進められた。

- ・ ISO 15836-2 DIS 草案における変更

2018 年 11 月にまとめられ、SC4 から ISO 中央事務局に送付された。2019 年 2 月 19 日に DIS 投票が開始され、5 月 14 日を期限としている。ISO 15836-2 の期限はあと 6 ヶ月。

5. ISO/DIS15836-2 投票 (5/15 期限)

ISO の新しい規則により、投票期間中の公式審議はできないことになった。

6. Future work items

- DCMI Usage Board が ISO15836 の改訂プロセスを通じて活性化し、この動きが継続するよう望んでいる。
- WG16 から DCMI 版に対して要望を出すことも可能。DCMI 版での変更が将来的に ISO にも反映される。
- 今後の改訂は、要素一つ一つというのではなく、既存の Application Profile をベースに考えるのが良い。( DC element set から DCMI Terms に語彙が拡大した際には、Dublin Core Collections Application Profile の要素が多く採用された。初期の DCUB では、このように Application Profile を Dublin Core の仕様に反映するということが行われていたが、現在は DCMI では行われなくなっている。)
- 多くの図書館で記述が求められる資料群として、学位論文を対象とした Scholarly Works Application Profile (SWAP)やデータセットを対象とした Data Catalog Vocabulary (Data Catalog Vocabulary)の語彙を規格に含むことを提案する。SWAP は現在管理団体がない。

(ディスカッションなど)

- SWAP、DCAT、また Dublin Core 標準の利用について
  - マッピングがしやすいので、ローカルなメタデータを、他のメタデータ標準に変換する時の翻訳用の語彙として用いる。また、オーストラリアでは研究データコミュニティで DCAT が、フィンランドでは修士論文や博士論文に SWAP が用いられている。
- ローカルには様々な AP があるが、国際標準化するには、どのように進めるかを考える必要がある。